

参考論文の記載方法

参考文献

学術誌

- 1) 佐藤慎司, 大畑俊和, 田島芳満: 礫の挙動に着目した天竜川河口付近の土砂移動機構の解明, 海岸工学論文集, 第54巻, pp.606-610, 2007.
- 2) 森 信人, 村上裕之, 志村智也, 中條壯大, 安田誠宏, 間瀬 肇: マルチモデルアンサンブルによる気候変動に伴う熱帯低気圧特性の将来変化予測, 土木学会論文集 B2(海岸工学), Vol. 68, No.2, pp.I_1251-I_1255, 2012.
- 3) Khayyer, A., Gotoh, H. and Tsuruya, N.: A New Surface Tension Model for Particle Methods with Enhanced Splash Computation, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, Ser. B2 (Coastal Engineering), Vol.70, No.2, pp.I_26-I_30, 2014.
- 4) 喜岡渉, 山根聡, 青木伸一: 波群とそれに伴う長周期波の反射, 海岸工学論文集, 第43巻, pp.166-170, 1996.
- 5) 藤間功司, 後藤智明, 首藤伸夫: 非線形分散波理論の数値的な検討, 第31回海岸工学講演会論文集, pp.93-97, 1984.
- 6) Battjes, J. A. and Vledder, G. Ph. van: Verification of Kimura's theory for wave group statistics, *Proc. 19th Int. Conf. on Coastal Engineering*, Houston, ASCE, pp.642-648, 1984.
- 7) Mase, H., Tamada, T., Yasuda, T., Hedges, T., and Reis, M.: Wave Runup and Overtopping at Seawalls Built on Land and in Very Shallow Water., *J. Waterway, Port, Coastal, Ocean Eng.*, Vol.139, No.5, pp.346-357, 2013.
- 8) 合田良実: 耐波工学, 鹿島出版会, 430p., 2008. **書籍**
- 9) Dean, R.G. and Dalrymple, R.A.: *Water Wave Mechanics for Engineers and Scientists*, World Scientific, 353p., 1991.
- 10) (独法)科学技術振興機構: 科学技術情報流通技術基準ハンドブック 2003年版(オンライン), <http://www.jst.go.jp/SIST/handbook/sist02sup/>, 参照 2005-04-25. **HP**

※土木学会論文集(海岸工学)投稿要項から引用

● 参考文献の記載順序

- **学術誌**⇒著者:論文タイトル, 学術誌, 巻号, ページ番号, 発表年.
- **書籍**⇒著者:書籍タイトル, 出版社, ページ番号, 発表年.
- **HP**⇒制作元:タイトル, URL, 参照年月日.

● 英語表記の学術誌・書籍の記載方法

- 学術誌・書籍名は「斜体」で記述する.

● ページ番号の表記の仕方

- p.○ ⇒引用した箇所が, ○ページに記載されていることを意味している.
- pp.○-□ ⇒引用した箇所が, ○から□ページまでに記載されていることを意味している.
- Op. ⇒引用した学術誌あるいは書籍などが, 全部で○ページあることを意味している.
- ローマ字後のピリオド「.」が意味すること
 - このピリオドは, 省略を意味している.
 - 例えば, 「Journal」は「J.」となり, ページ「page」は「p.」となる.